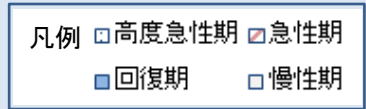


平成29年度病床機能報告結果(速報値)

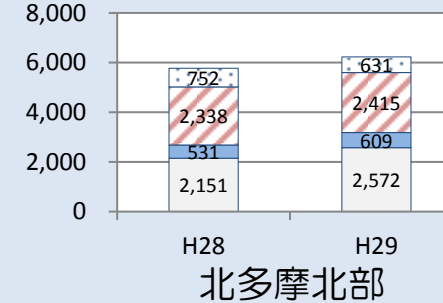
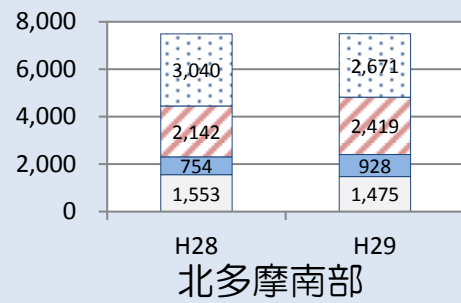
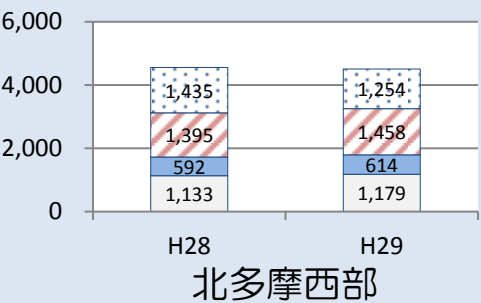
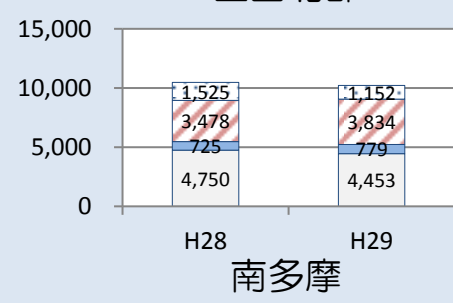
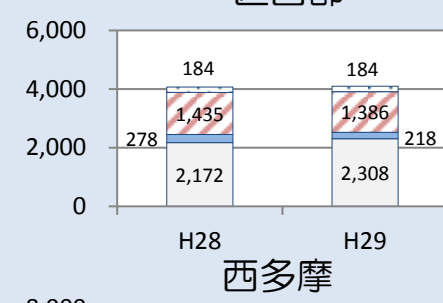
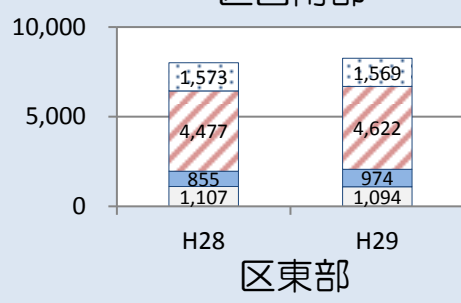
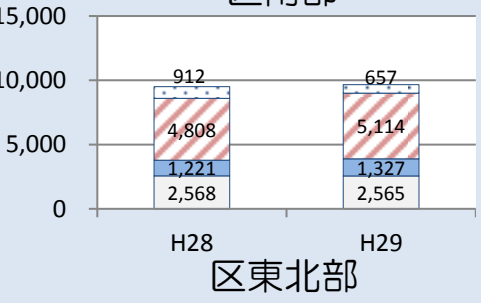
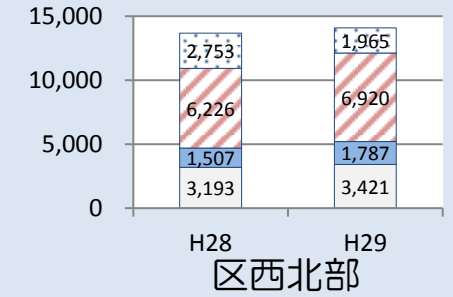
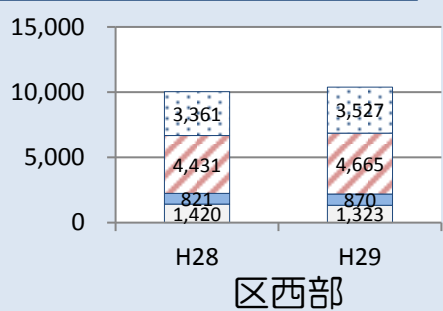
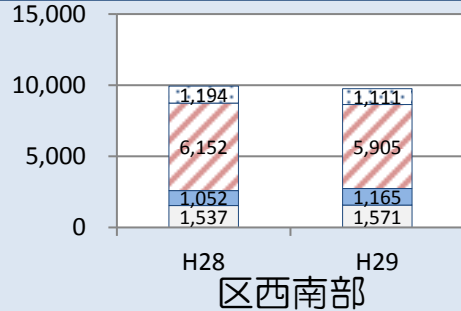
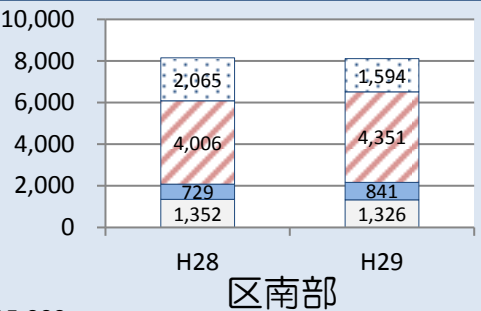
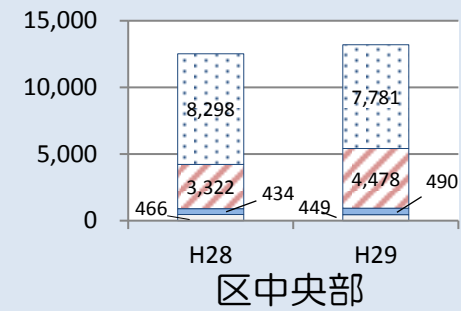
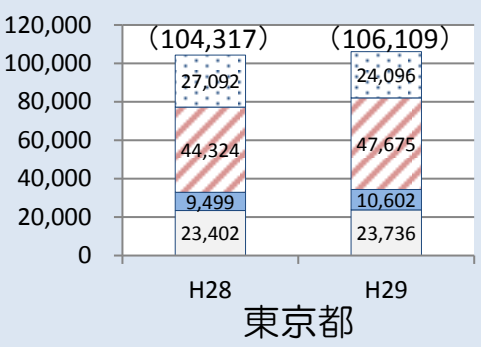
H28-29比較 <4機能別許可病床数>



<結果の概要(東京都)>

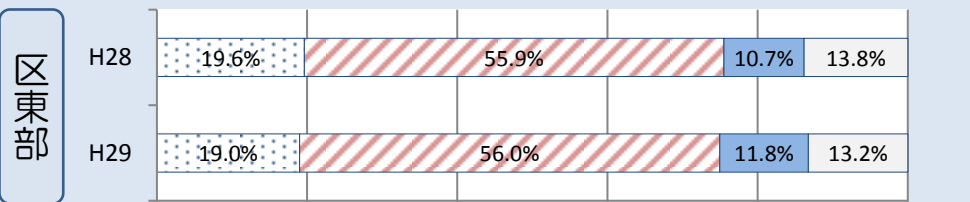
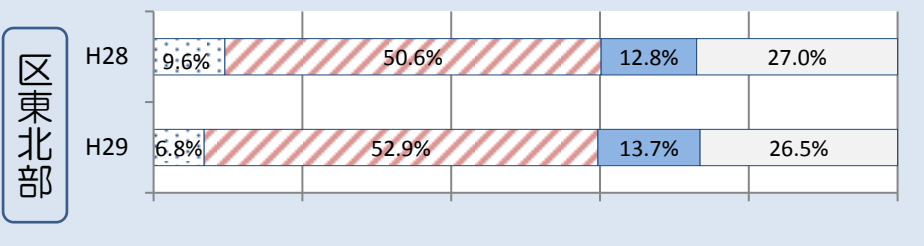
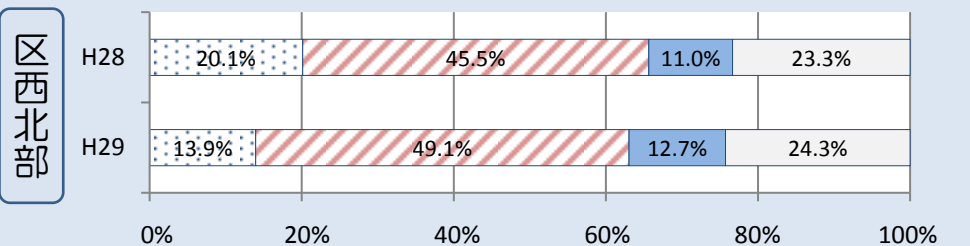
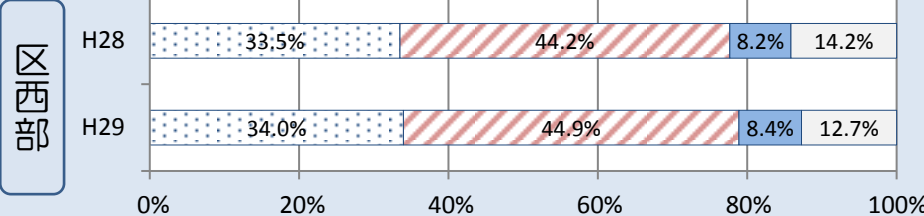
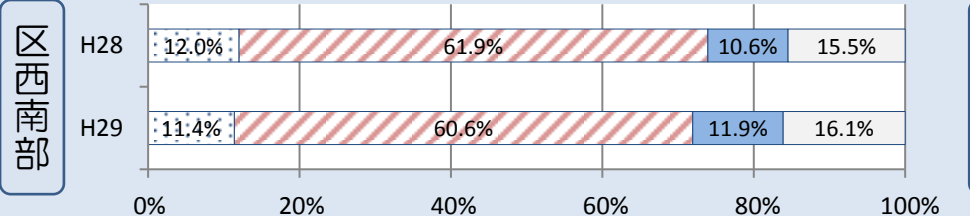
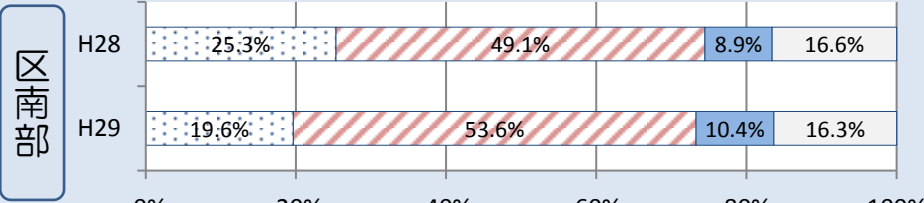
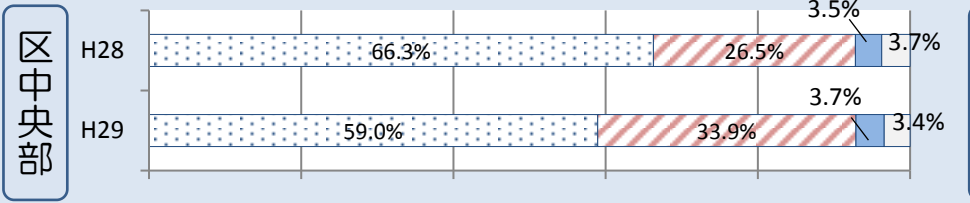
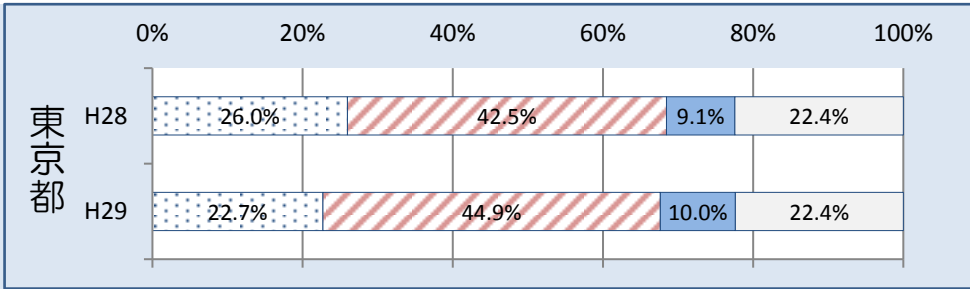
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

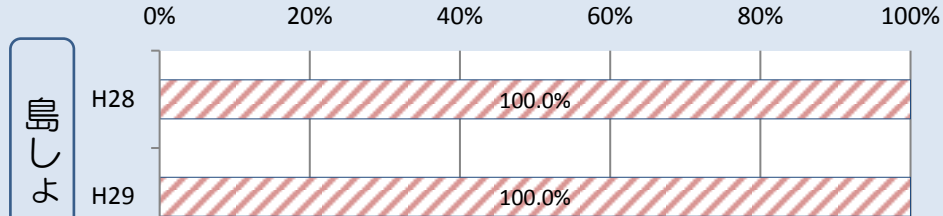
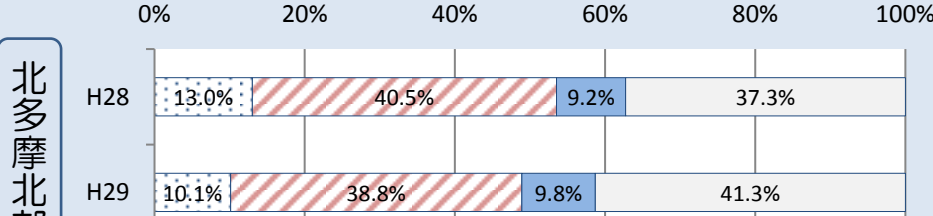
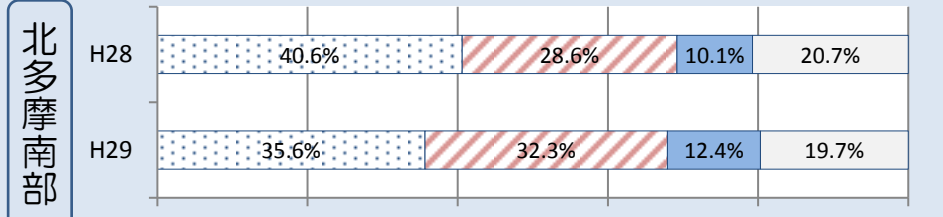
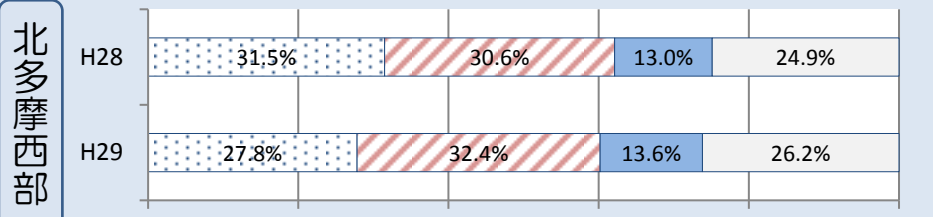
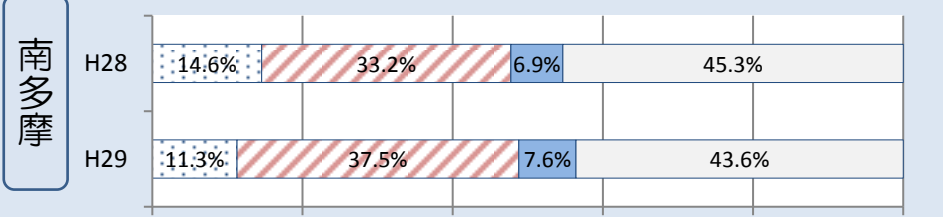
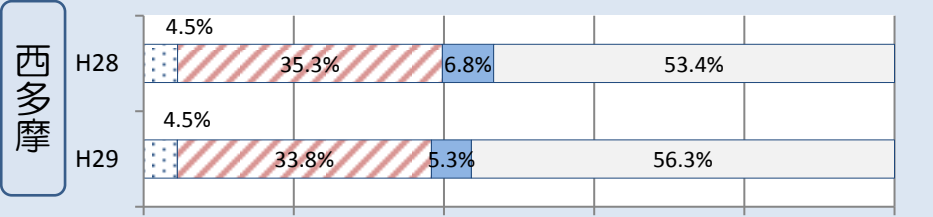


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

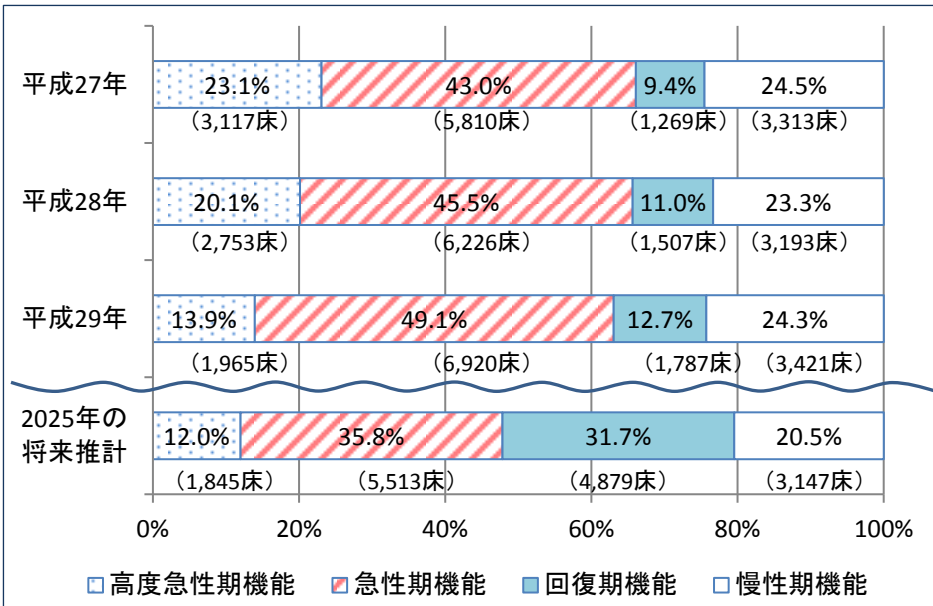
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



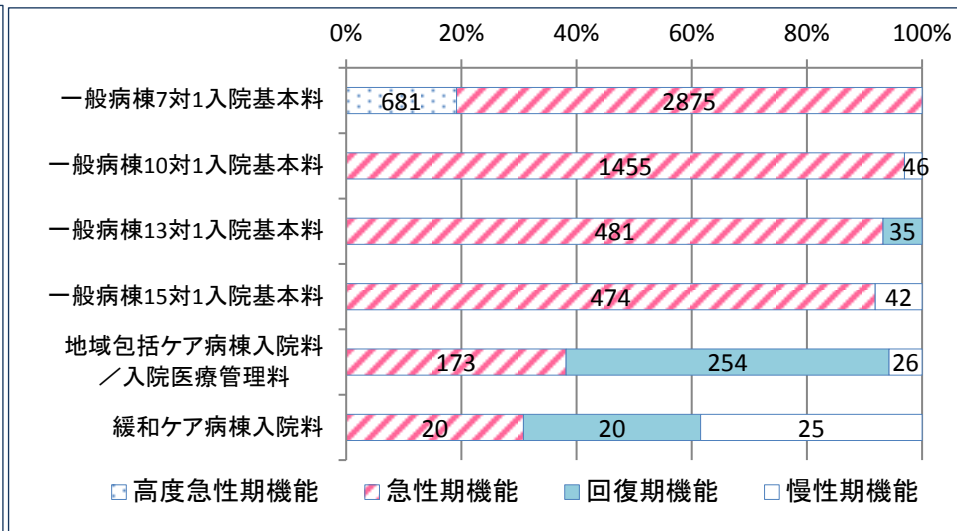
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

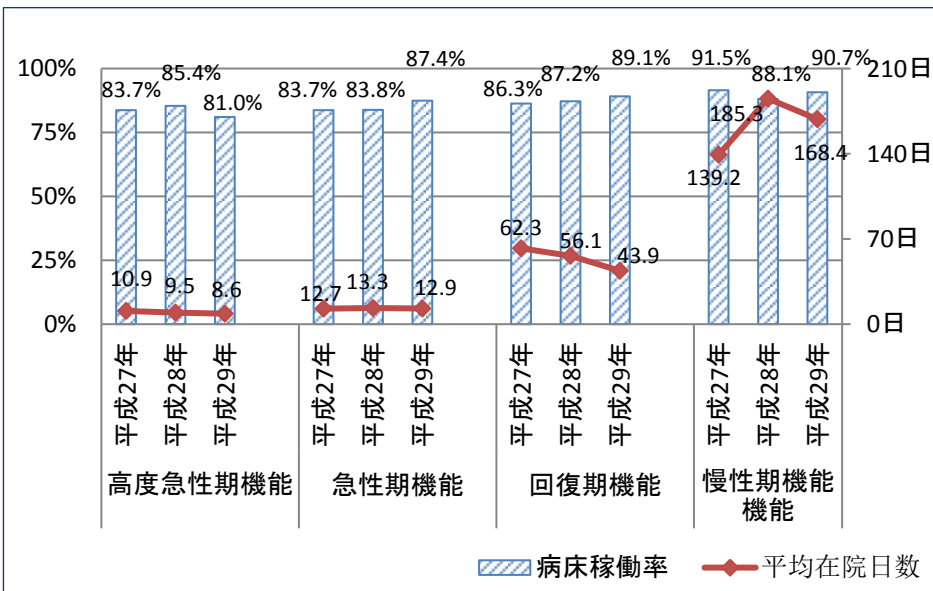
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	3,205 93.1%	10 0.3%	64 1.9%	165 4.8%
急性期機能	10,045 85.3%	252 2.1%	568 4.8%	905 7.7%
回復期機能	491 54.3%	29 3.2%	112 12.4%	272 30.1%
慢性期機能	314 74.1%	19 4.5%	27 6.4%	64 15.1%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 58.4%(前年度62.9%)

- ①急性期・回復期・慢性期機能が増、高度急性期機能が減
- ②全機能で平均在院日数が短縮、高度急性期機能以外で病床稼働率が上昇
- ③地域包括ケア病棟で、回復期機能と報告された割合が高い。緩和ケア病棟では、急性期・回復期・慢性期機能の報告がほぼ均衡
- ④回復期機能で、退院後の在宅医療実施予定が不明の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が低下し、都平均を下回った。